

カイボリの報告

10月20日に丹沢大山ボランティアネットワーク主催の池のカイボリの行事が行われました。スタッフも入れて総勢31名が集まりました。この作業は、センターの谷戸の池にいつとはなく放たれてしまった外来種駆除が目的です。まず初めに簡単な作業の説明の後、各々で長靴や胴長を着て池の周りに集合です。前の日から水が抜いてあった池へ並んで入り、それぞれ、網を持って横に一直線になって、池の奥へ進みました。

池の中ほどから歓声がり始めました。大人の人たちがなんだか楽しそうに網で魚をすくいはじめました。大きな鯉がいて何人かで追いかけてようやく網ですくいあげていました。生け捕った魚などを岸に上がりそれぞれの入れものに種類別に入れてはまた池の中に入って奮闘していました。70センチ以上もある鯉が2匹もとれ、何度も入れ物から飛びだそうとしていました。最後に外来種と在来種の仕分けをして、外来種のブルーギルやザリガニは、気の毒ですが、センターの傷病動物のお土産としました。もちろん外から持ち込まれた鯉もです。在来種の主なものはモツゴ206匹、ヨシノボリ37匹、ヤゴ、ヌカエビ、メダカ、ホトケドジョウそれと大きなモクズガニが1匹入っていました。

時間が来て、池から上がりそれぞれが長靴や胴長を洗い楽しい一日？が終わりました。でも、毎年やっているのになぜかザリガニなどはかなりの量が捕獲されます。根絶はなかなか難しいようですね。来年もこの行事は行われるようです。

